

↓扉の吊込動画はコチラ



施工手順書⑦-1

カエサル(CAESAR)

スイング戸、両スイング戸、
サイドガラスセット(固定タイプ)

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事	①-1.ステルス枠・標準仕様 / ①-2.ステルス枠・準耐火仕様
②クロス・塗り壁工事 (ステルス枠・インセット枠共通)	①-3.インセット枠仕様
③扉・金物の取付 (ステルス枠・インセット枠共通)	③-1. 片開き戸、親子戸 ③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊) ③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動) ③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④~⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット	④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、連続開き戸 ④-3. スライド片開き戸
⑤オートマチックドア	⑤-1. 片引き戸(上吊) ⑤-2. 片開き戸
⑥ヴェトロ・ミラノ	⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 片開き戸
⑦カエサル	⑦-1. スイング戸、両スイング戸、サイドガラスユニット ⑦-2. アウトセット片引き戸(上吊)
⑧マルコ	⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)
⑨フィット	⑨-1. スイング戸 ⑨-2. 片引き戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)、引分け戸

□スイングドア

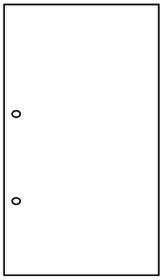
カエサル

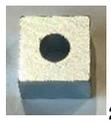
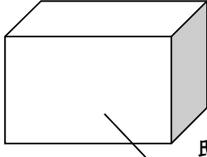
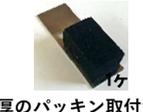
【カエサル専用】

施工手順書2025/8改訂

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具		必ず2人以上で吊り込みしてください。		同 梱 品				
部材	数量	備考						
開き戸	1枚							
								

建具金物箱		ハンドル(GT・GV・GW)		コロ	ゴムパッキン	
部材	数量	備考				
金物箱	10セットに付1箱			2ヶ	4ヶ	
 <p>邸別段ボール箱</p>		スプリングワッシャー	ビス(M8×80)	横ビス(M3.8×5.5)		
		2ヶ	2ヶ	4ヶ		
同 梱 品		下部フロアヒンジ受け		フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ	
			※フロアヒンジは面付タイプです。床へ埋め込まないでください			
		面付タイプ 1セット			4本	1セット
		上部フロアヒンジ受け	扉側上部ヒンジ	上部ヒンジ取付けビス(半ネジ)	扉側下部ヒンジ	
						
		1ヶ	1ヶ	8本(M5×25)	1ヶ	
		下部ヒンジ取付けビス(全ネジ)	扉側上部ヒンジカバー	扉側下部ヒンジカバー	ヒンジカバー取付けビス	
						
		13本(M4.5×25)	※石目調柄には3mm厚のパッキン取付済 詳細は「13 フロアヒンジの各カバーの取付け」を参照		2本(M4.8×4.2) ※石目調の場合M4.9×7.5	
		施工手順書	六角レンチ(M3)	六角レンチ(M4)		
						
	下部フロアヒンジ受け用 1ヶ	扉側上部ヒンジ用 1ヶ				

□スイングドア

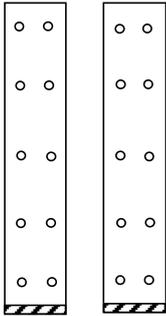
カエサル

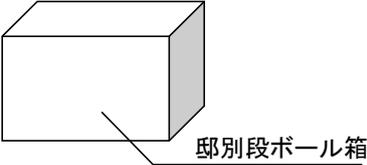
【カエサル専用】

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

施工手順書2025/8改訂

下地枠			同 梱 品											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>縦枠下地</td> <td>2本</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				部材	数量	備考	縦枠下地	2本						
部材	数量	備考												
縦枠下地	2本													
														

下地金物箱			同 梱 品	ダンドリス										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金物箱</td> <td>10セットに付1箱</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				部材	数量	備考	金物箱	10セットに付1箱						
部材	数量	備考												
金物箱	10セットに付1箱													
				施工手順書 										

□スイングドア

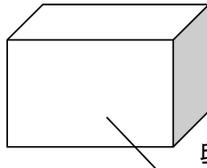
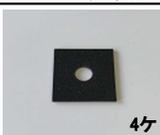
カエサル

【カエサル専用】

■ 製品及び同梱内容の確認 (オプションハンドルの場合)

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

施工手順書2025/8改訂

建具金物箱			下部フロアヒンジ受け		フロアヒンジ取付けビス	アンカーセット及び六角レンチ						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>金物箱</td> <td>10セットに付1箱</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			部材	数量	備考	金物箱	10セットに付1箱		 <p>※フロアヒンジは面付タイプです。床へ埋め込まないでください</p>		 <p>4本</p>	 <p>1セット</p>
部材	数量	備考										
金物箱	10セットに付1箱											
 <p>邸別段ボール箱</p>			 <p>1ヶ</p>	 <p>1ヶ</p>	 <p>8本(M5×25)</p>	 <p>1ヶ</p>						
			 <p>13本(M4.5×25)</p>	 <p>1ヶ</p>	 <p>1ヶ</p>	 <p>2本(M4.8×4.2) ※石目調の場合M4.9×7.5</p>						
<p>※表の数量はスイング戸の場合を示す。両スイング戸の場合は×2となります。</p>			<p>ハンドル(GE)</p> 		<p>コロ</p>  <p>2ヶ</p>	<p>ゴムパッキン</p>  <p>4ヶ</p>						
			<p>スプリングワッシャー</p>  <p>2ヶ</p>	<p>ビス(M6×75)</p>  <p>2ヶ</p>	<p>横ビス(M3.8×5.5)</p>  <p>4ヶ</p>							
<p>GF・GG</p>			<p>ハンドル(GF・GG)</p> 		<p>コロ</p>  <p>2ヶ</p>	<p>ゴムパッキン</p>  <p>4ヶ</p>						
			<p>ビス(M6×75)</p>  <p>2ヶ</p>	<p>スプリングワッシャー</p>  <p>2ヶ</p>	<p>横ビス(M3.8×5.5)</p>  <p>4ヶ</p>							
<p>GH・GK</p>			<p>ハンドル(GH・GK)</p> 		<p>ステンレルプレート</p>  <p>8ヶ</p>	<p>ゴムパッキン</p>  <p>9ヶ(予備1ヶ)</p>						
			<p>スプリングワッシャー</p>  <p>8ヶ</p>	<p>ビス(M6×70)</p>  <p>4ヶ</p>	<p>ゴム製リング</p>  <p>4ヶ</p>	<p>ビス(M6×50)</p>  <p>4ヶ</p> <p>本品は使用しません。</p>						

□ 【カエサル専用】 スイング戸

施工手順書2025/8更新

1 開口寸法の確認		
<p>① 縦・横の開口寸法を確認してください。</p> <p>※縦の開口寸法 (FL~天井) は +2mmを超えてしまうと、不具合 (ガタツキや異音) の原因となるため、開口寸法を守って施工してください。</p> <p>※床は沈み込みが無いように施工してください。ガタツキの原因となります。</p>		
	<p>縦方向の開口確認 ※ +2mmを超えると不具合 (ガタツキや異音) の原因となります</p>	<p>横方向の開口確認</p>
<p>注意</p>	<p>※縦方向の開口は指定の寸法から +2mmを超えるとガタツキや異音発生の原因となる為、開口寸法を守って施工してください。</p>	

2 縦枠の取付け		
<p>【サイドガラス無しの場合】 開口寸法を確認して柱に縦枠をダンドリビスで取付けてください。 2mmクリアランスには接着剤付のくさびを入れて枠が動かないように固定してください。</p>	<p>縦枠を取付け後、開口寸法の確認 柱と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける</p>	<p>【準耐火の場合】 15mm石膏ボード</p> <p>壁平面に取付けの場合、 15mm石膏ボードの上から縦枠を取付ける</p>
<p>【サイドガラス有りの場合】 サイドガラスが入る側には縦枠は取付きません。 サイドガラスからの開口寸法をご確認ください。 ※サイドガラスの施工方法は本手順書のp12~をご覧ください。</p>	<p>【片側サイドガラスの場合】 サイドガラスの無い方に縦枠を取付けてる 躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設ける</p>	<p>【両側サイドガラスの場合】 縦枠の取付け無し サイドガラス間の寸法を確認する</p>
<p>注意</p>	<p>※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。 ※標準納まりの場合、躯体と縦枠の間には2mmのクリアランスを設けてください。準耐火納まりの場合は2mmのクリアランスは必要ありません。 ※サイドガラスの施工手順に関しては本施工手順書の p 12~をご覧ください。</p>	

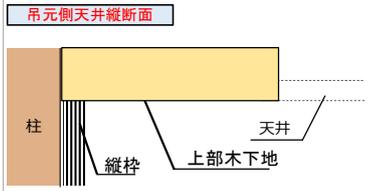
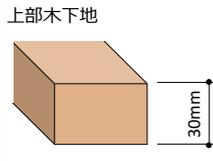
□ 【カエサル専用】 スイング戸

施工手順書2025/8更新

3 上部木下地の取付け

① 【サイドガラス無しの場合】

吊元天井に上部ヒンジ受けを取付けるため、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。この時、上部木下地は天井高さに合わせてください。

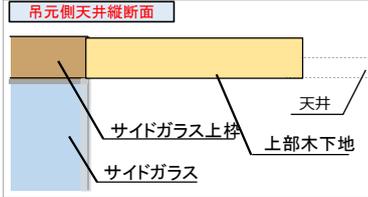


上部木下地を用意する
(厚み30mm)

上部木下地の下端を天井面に合わせて取付ける

② 【吊元側サイドガラス付きの場合】

吊元天井側に上部ヒンジ受けを取付ける為、厚み30mmの上部木下地を取付けてください。取付位置はサイドガラスの上枠面から取付けてください。



上部木下地を用意する
(厚み30mm)

サイドガラス上枠から上部ヒンジ受けを取付ける位置に合わせて上部木下地を取付ける

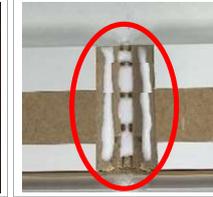
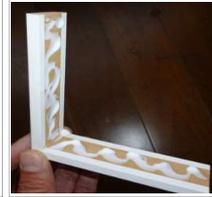
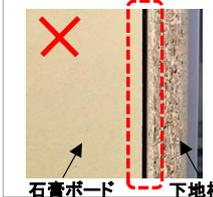
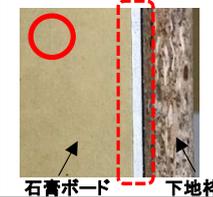
注意

※上部木下地は必ず厚み30mm以上にしてください。

4 石膏ボード・巾木・クロス施工

① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面に

まわして取り付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)
※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。



石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす

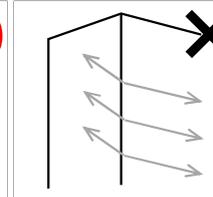
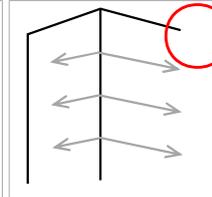
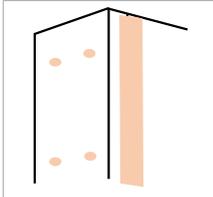
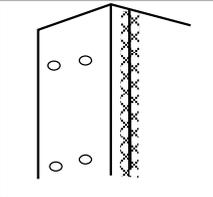
枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている

接着剤全面塗布

Vカット部分も接着剤を塗布する

② 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行って

ください。
下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。
金物加工部をまたいでクロスを貼ってください。



ジョイント部をまたいでメッシュテープを貼る

ビス穴、メッシュテープ部、及び縦枠の木口面全体にパテを塗る
(下塗り、上塗り)

枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕をもったサイズでまっすぐ貼る

クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼るとクロスよれの原因となります

注意

※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合：高さ30mm×深さ7mm)。
※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いうようにしてください。

□ 【カエサル専用】 スイング戸

施工手順書2025/8更新

5 上部木下地の加工

<p>① 【サイドガラス無しの場合】 上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、φ23 深さ22mmの穴加工をしてください。</p>	<p>吊元側天井見上げ図</p> <p>穴加工位置</p>	<p>A-A断面図</p> <p>穴加工断面寸法 φ23 深さ22mm</p>	<p>吊元側天井見上げ写真</p> <p>穴加工部見上げ写真</p>
<p>【吊元サイドガラス付きの場合】 上部木下地に上部フロアヒンジ受けを取付ける為、サイドガラスの端部から92mmの位置に加工（φ23 深さ22mm）をしてください。</p>	<p>吊元側天井見上げ図</p> <p>【吊元側サイドガラスの場合】 サイドガラス端部から92mmの位置に穴加工</p>	<p>注意</p> <p>上部フロアヒンジ受け 下部フロアヒンジ受け</p> <p>上部フロアヒンジ受けのセンターは下部フロアヒンジ受けのセンターとずれないように取り付ける</p>	
<p>注意</p>			

6 上部フロアヒンジ受け（上枠側）の取付け

<p>① 上部木下地の穴加工部に、上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付けてください。</p>	<p>上部フロアヒンジ受け取付け写真</p> <p>穴加工部に上部フロアヒンジ受けを同梱ビス（M5×25 半ネジ）で取付け</p>	
<p>金物は扉開口に対して平行になるように取付けてください。</p>	<p>吊元側天井見上げ図</p> <p>○</p>	<p>吊元側天井見上げ図</p> <p>×</p>
<p>注意</p>	<p>※上部フロアヒンジ受けをビス止めする時は、扉開口に対して平行になるように取付けてください。</p>	

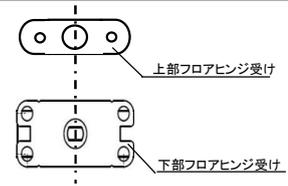
□ 【カエサル専用】 スイング戸

7 下部フロアヒンジ受けの取付け（面付）

注意

※レーザー墨出し機などを用い、上下のヒンジ中心を正しく墨出しする様にしてください。
 ※上部ヒンジ受けのセンターは下部ヒンジ受けのセンターとずれないように取付ける
 ※扉は最大で70kgになります。下部ヒンジを取付ける床は十分な補強をしてください。
 開閉に支障が出る場合が考えられます。

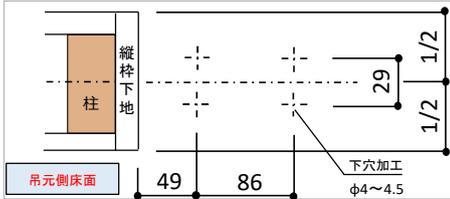
注意



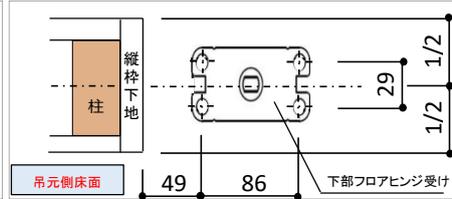
① 【サイドガラス無しの場合】

吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）をしてください。
 下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。



吊元側の床面（上図寸法位置）に下部フロアヒンジ受け用の下穴加工（φ4～4.5）をする（4箇所）



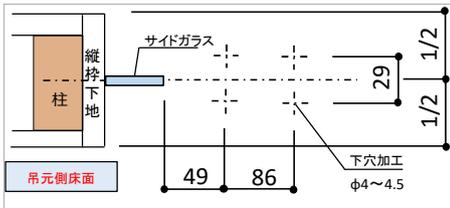
下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

② 【吊元側サイドガラス付きの場合】

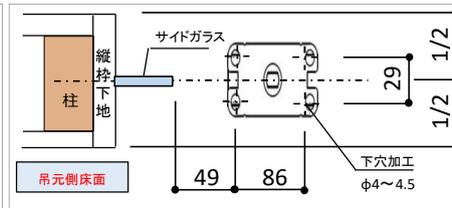
サイドガラス端部から49mmの位置に吊元側床面に下部フロアヒンジ受けの取付け用下穴加工（φ4～4.5）を空けてください。

下部フロアヒンジ受けを下穴加工位置に合わせて同梱のビス（M6×35）4本で止めてください。

※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。



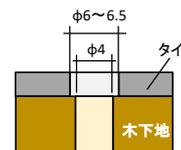
【サイドガラスの場合】
 サイドガラス端部から49mmの位置に下穴を空ける



下穴加工位置に合わせて、同梱のビス（M6×35）4本で止める

注意

※床は沈み込み等無いよう施工してください。扉のガタツキや異音の原因となります。
 ※フロアヒンジは面付タイプです。埋め込まないでください。
 ※下穴加工は寸法通りあけてください。下穴加工位置がずれると下部フロアヒンジ受けが斜めに取付いてしまいます。
 ※ヒンジ直下に木下地となる様に施工する事をおすすめします。
 ※やむを得ず、ヒンジ直下にタイルを施工する場合
 ・タイル厚は10mmまでとしてください。
 ・タイルには上図指定位置にあらかじめφ6～6.5で穴を開けてからタイルを施工してください。
 ・木下地にはタイルとは別に、必ずφ4で下穴加工をしてください。



□ 【カエサル専用】 スイング戸

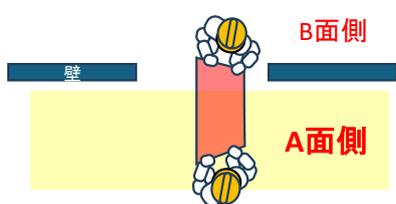
施工手順書2025/8更新

8 扉側下部フロアヒンジの回転について

- a. 吊り込み前に扉側下部ヒンジの軸を回転させる必要が有ります。回転方法は下図①、②の方法があります。
吊り込みの位置によって回転方向が変わりますので、注意して軸回転→吊り込みを行ってください。
※回転方向と吊り込み位置を間違えると、正しく開閉が出来なくなるばかりでなく、ヒンジを破損させる場合があります。
- b. 現場の状況を加味して、吊り込む位置を“A面側”か、“B面側”を決定します。

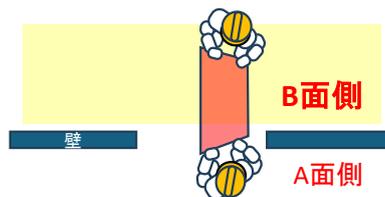
”A面側”で吊り込む場合

吊り込み位置イメージ図<上面視>



”B面側”で吊り込む場合

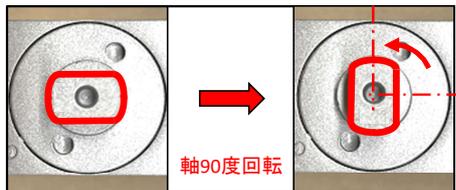
吊り込み位置イメージ図<上面視>



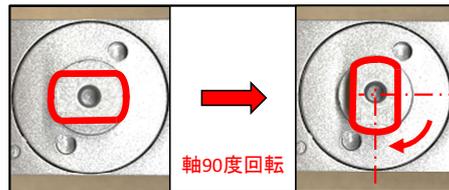
① 扉側下部ヒンジ単体での回転 (初回吊り込み)



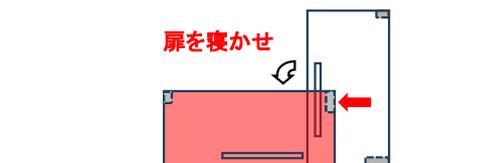
軸の動きを確認する。



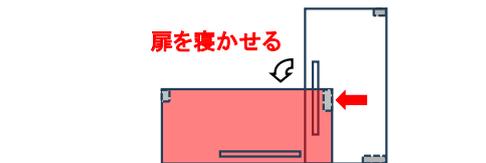
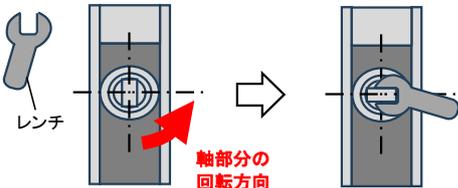
軸の動きを確認する。



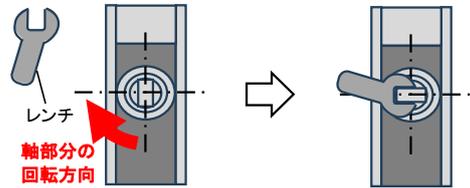
② 下部ヒンジ扉組付け後の回転 (再吊り込み)



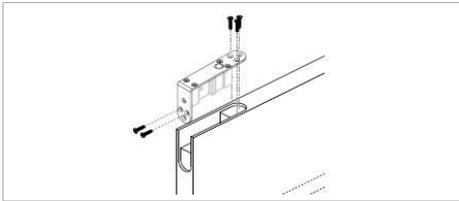
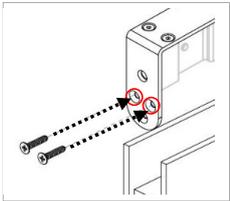
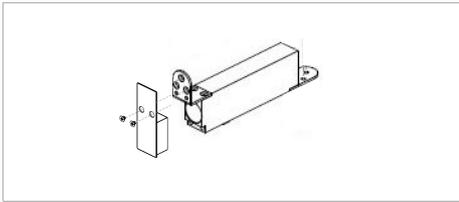
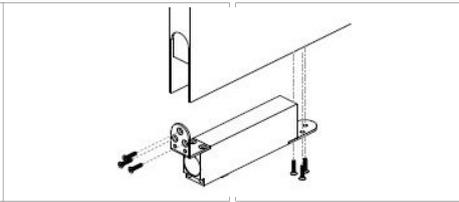
○ヒンジの軸部分をモンキーレンチ等で回転させる



○ヒンジの軸部分をモンキーレンチ等で回転させる



□ 【カエサル専用】 スイング戸

9 扉側ヒンジ金物の取付け		
<p>① 扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを同梱ビス (M5×25 半ネジ) 5本で取付けてください。</p>		
	扉上端の加工部に扉側上部ヒンジを取付ける	※平行に空いている穴にビスを取付ける
<p>② 扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを同梱ビス (M4.5×25 全ネジ) 6本で取付けてください。</p>		
	取付ける前にヒンジカバーを取外す	扉下端の加工部に扉側下部ヒンジを取付ける
<p>注意</p> <p>※ヒンジカバー側 (扉側面) のビスを必ず取付けてください。 ※必ず扉側の下部フロアヒンジの軸を90度回転させ、軸を縦向きにしてください。軸を回転しないと扉を吊り込めません。 ※ヒンジカバーのビスは手動ドライバーで取付けてください。</p>		

10 扉の吊り込み		
<p>① 扉をA面側に90度開いた状態で下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れてください。</p>		
	扉をA面側に90度開いた状態で、下部フロアヒンジ受けに扉側の下部ヒンジの軸を入れる	
<p>② 扉を90度開いた状態で、上部フロアヒンジ受けの軸受けと、扉側の上部ヒンジの軸芯を合わせてください。 扉側の上部ヒンジの小口面の調整ネジを六角レンチで回し、軸芯を全て出して軸受けに入れてください。</p>		<p>六角レンチサイズ(2面幅)</p> 
	軸受けと軸芯を合わせ、調整ネジを回して軸芯を軸受けに入れる	
<p>注意</p> <p>※軸芯は必ず全て出して、軸受けに入れてください。 ※扉側の下部ヒンジの軸が入らない場合は、本手順書「4 扉側下部フロアヒンジ軸の回転」を行ってください。 ※本手順の7-①で軸を回転させた同じ向きから扉を吊り込んでください。異なる向きから扉を吊り込むと扉が開く方向に動きます。</p>		

□ 【カエサル専用】 スイング戸

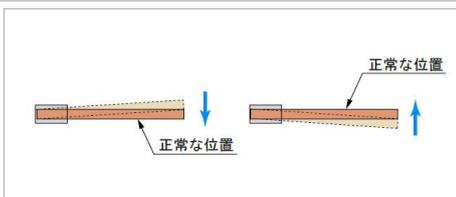
施工手順書2025/8更新

11 扉の閉鎖位置調整 及び 開口との隙間調整

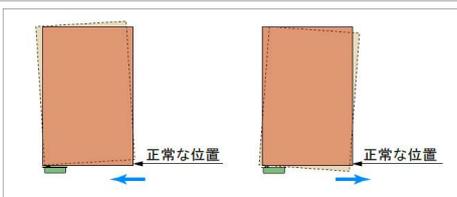
- ① 先ず、下部フロアヒンジ受けの6箇所全ての調整ネジを六角レンチで緩めてください。
扉の閉鎖位置が正常な位置となるように調整してください。
また、開口との隙間が正常な位置となるように調整してください。



6箇所の調整ネジ（赤矢印部）を六角レンチ(3mm)で六角レンチサイズ(2面幅)「扉の閉鎖位置」と「開口との隙間」を調整



【閉鎖位置の調整】
上記写真の4本の調整ネジを六角レンチで調整



【開口との隙間調整】
上記写真の2本の調整ネジを六角レンチで調整

注意

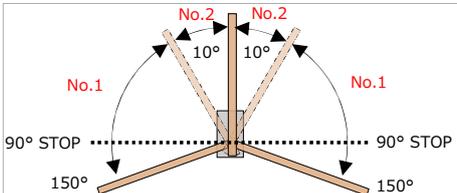
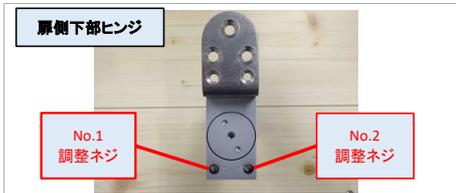
- ※調整をする時は一度6箇所の調整ネジを全て緩めてから調整をしてください。
- ※調整は、必ず6本全ての調整ネジを締め込んでください。締め忘れると使用中に位置がズレてしまいます。
- ※扉を調整する上で戸先の停止位置がふらつく場合はイモネジの締め込み不足です。調整位置が確定した後に再度両側から締め込んで固定してください。

12 開閉速度の調整

- ① 扉側の下部ヒンジにある速度調整ネジを回して開閉速度の調整をしてください。

【調整範囲】

- ・No.1
開閉角度 10°~150°
- ・No.2
開閉角度 0°~10°



扉側の下部ヒンジにある開閉速度調整ネジ（No.1及びNo.2）をマイナスの手動ドライバーで回して開閉速度を調整

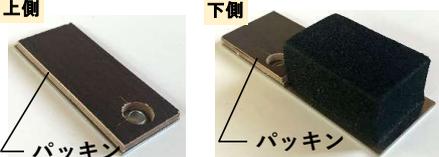
注意

- ※No.1とNo.2の開閉速度の差を極端に変化させないでください。
- ※No.1とNo.2それぞれの開閉速度調整ネジを締め過ぎないでください。締め過ぎると扉が動かなくなります。
- ※No.1とNo.2の開閉速度調整ネジを必要以上に回転操作すると、閉扉動作に支障をきたしたり、油が漏れ出るおそれがあります。

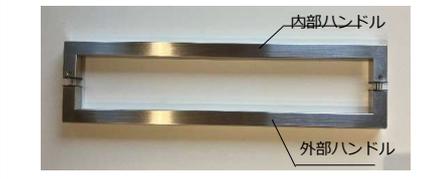
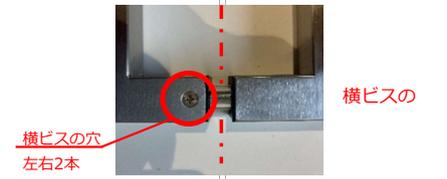
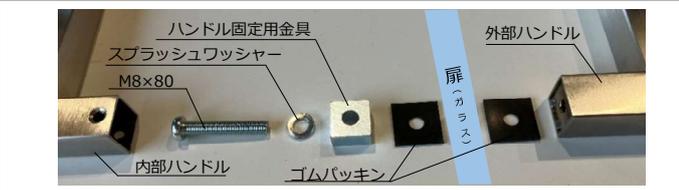
□ 【カエサル専用】 スイング戸

施工手順書2025/8更新

13 フロアヒンジの各カバーの取付け

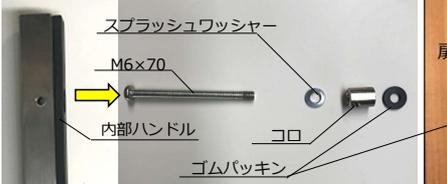
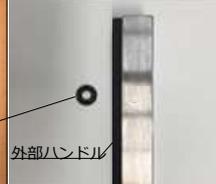
<p>① 【扉側ヒンジのカバー取付け】</p> <p>上側 カバーを同梱ビス (M5×25 半ネジ) で取付けてください。 ※扉側上部ヒンジ取付ビスと同</p> <p>下側</p> <p>カバーを同梱ビス(M4.8×4.2)2本で取付けてください。</p>	<p>上側カバー</p> 	<p>下側カバー</p> 	<p><石目調カエサルの場合> ※パッキンは外さないでください</p> <p>上側 下側</p>  <p>※上下カバーをパッキンを付けたまま同梱ビスで取付 ※下側のビスはM4.9×7.5が同梱されています</p>
<p>【下部フロアヒンジ受けのカバー取付け】</p> <p>下部フロアヒンジ受けに、戸先側と戸尻側からカバーを嵌め込んでください。</p>	 <p>下部フロアヒンジ受けのカバー取付け</p>		
<p>注意</p> <p>※扉側のカバーをビス止めする時は、手動ドライバーで取付けてください。締め過ぎると、カバーが変形する恐れがあります。 ※石目調カエサルの場合、扉側ヒンジカバーの裏面にはパッキンが付いています。必ずパッキンは外さずに付けたままカバーを取付けてください。</p>			

13-3 ハンドルの取付け (標準GT/GV/GWタイプ)

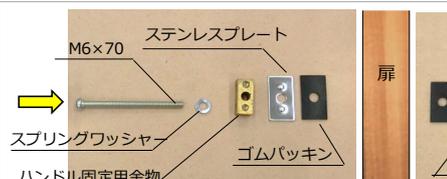
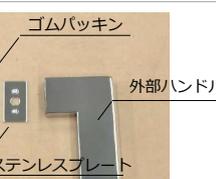
<p>① 内部ハンドルと外部ハンドルの確認。</p>	 <p>内部ハンドル 外部ハンドル</p>	 <p>横ビスの穴 左右2本</p> <p>横ビスの</p>
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M8×80のビスで締め込む。 ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>	 <p>ハンドル固定用金具 スブラッシュワッシャー M8×80 内部ハンドル ゴムパッキン 外部ハンドル 扉 (ガラス)</p>	 <p>内部ハンドルを横ビスで取付ける (左右2か所)</p>
<p>上記の通りに扉を挟み込んで取付ける ※ハンドルタイプによってビスやパッキンの形状や大きさが異なります。</p> <p>注意</p> <p>※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。</p>		

□ 【カエサル専用】 スイング戸

13-2 ハンドルの取付け (GG/GF/GE/GO/GPタイプ)

<p>① 内部ハンドルと外部ハンドルの確認。</p>			
	<p>上記写真はGGタイプの場合</p>	<p>【内部ハンドル】 横ビスの穴あり</p>	<p>【外部ハンドル】 ビス穴無し</p>
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×70のビスで締め込む。 ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>			
	<p>上記の通りに扉を挟み込んで取付ける ※ハンドルタイプによってビスやパッキンの形状や大きさが異なります。</p>		<p>内部ハンドルを 横ビスで取付ける</p>
<p>注意</p>	<p>※ハンドルは手動ドライバーで取付けてください。</p>		

13-1 ハンドルの取付け (GH/GKタイプ)

<p>① 【標準・GHハンドルの場合】 内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外してください。</p>				
	<p>内部ハンドルのハンドル固定用金物を取り外す</p>			
<p>② 各パーツと外部ハンドルで扉を挟み、M6×70のビスで締め込んでください。 最後に、ハンドル固定用金物に内部ハンドルを差し込み、両側からビスで取付けてください。</p>				
	<p>上記の通りに扉を挟み込んで取付ける</p>		<p>外部ハンドルを取付け</p>	
<p>注意</p>	<p>※同梱のビス (M6×50)、ゴム製リングは使用しません。</p>			

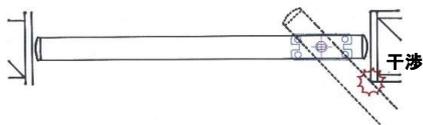
□ 【カエサル専用】 スイング戸

施工手順書2025/8更新

14 床付け戸当たりの取付け（オプション）

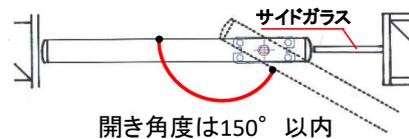
床付け戸当たりを取付ける場合は、扉の中央より戸先側に当たるように床に取付けてください。
吊元側に取付けると床付け戸当りに悪影響を与える恐れがあります。

【壁納まりの場合】



巾木や壁と扉が干渉する場合は戸当たりを取付ける
150度以上開かない様に戸当たりを取付ける

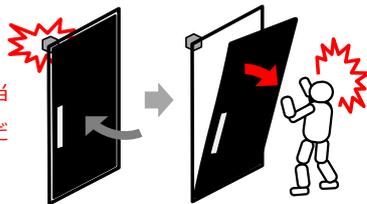
【サイドガラスユニットの場合】



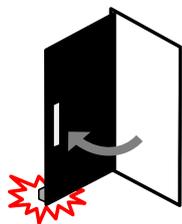
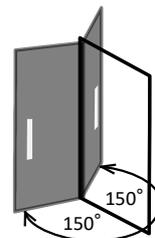
150度以上開かない様に戸当たりを取付ける

注意！

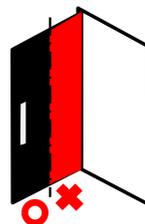
●片側のみ開閉する様な戸当りの設置は絶対にやめてください。



●150度以上開かないように戸当たりを取付けてください。150度以上開けるとヒンジ金物が破損する恐れがあります。



●オプションの床付け戸当たりを取付ける場合は、扉を勢よく開けないよう注意してください。勢よく開けると、床付け戸当たり及びヒンジ等の破損の原因となります。



●戸当りは戸先側に当たるように取付けてください。戸尻側に取付けると戸当りが破損する恐れがあります。

15 施工後の確認（開閉に異常を感じた時）

扉を開閉する際以下の症状が出た場合、カバーを外しフロアヒンジの2か所を①、②を確認し必要に応じて増し締めしてください。

- ・ゴトツと音がる
- ・閉扉位置が定まらない

※定期的な（1年に一回目安）増し締めをおすすめします。

① フロアヒンジ取付ビス緩み確認

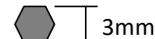


緩みが確認された場合手動ドライバーで締付けてください。

② 調整用ネジ緩み確認



六角レンチサイズ(2面幅)



緩みが確認された場合、戸先側の位置を確認しながらしっかりとネジを締付けてください。また、必要に応じネジロック材（ロックタイト 243）を使用してください。

16 F/Sシリーズ（HF5型、HF6型）扉の仕上げ・施工について

HF5型（現場クロス貼り仕様）、HF6型（現場塗装(ペイント)仕様）の施工については、以下の施工手順書を参照下さい。

参照施工手順書：【125】施工手順書扉取・インセット加工・塗り壁工事・ペイント(扉)】

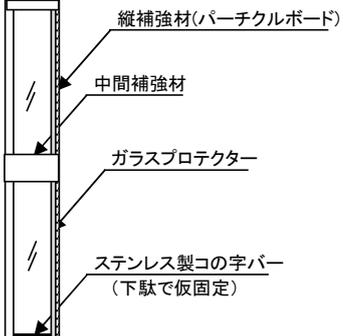
□ 【カエサル専用】 サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/8更新

■ 製品及び同梱内容の確認

● 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

造作材			施工手順書			
部材	数量	備考	同梱部品			
サイドガラス	1セット	ガラスは組込み済み ※ガラス下部のステンレス製の字バーは接着剤で固定済み				
						

※1 ガラスは強化ガラスを使用しています。

※2 ガラスの交換はできません。

※3 納品時は袖ガラス下部にはコの字バーがLVLで仮固定されています。

※4 施工中はガラスを傷つけないように養生をしてください

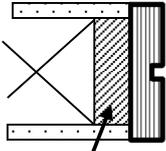
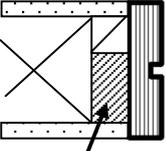
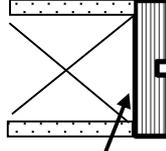
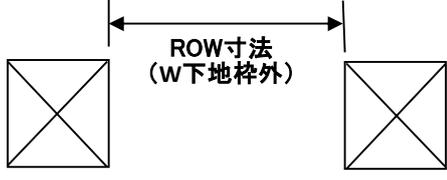
※5 ガラスプロテクターは、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨いたします。

□ 【カエサル専用】 サイドガラスセット(固定タイプ)

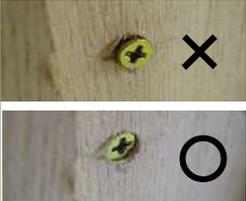
施工手順書2025/8更新

※サイドガラスセット(脱着タイプ)は『4 周辺部材 サイドガラスセット(脱着タイプ)』をご覧ください

1 施工前の確認事項

<p>① サイドガラスを設置する前に、開口部の中(図面:ROW寸法)と、高さ(図面:床仕上~開口高さ)、及び床仕上げの厚みを確認してください。 ※サイドガラスの設置は、ガラス下部のコの字バーが床仕上げ面より下に納まりますので床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間がある</p>	 <p>隙間なく固定</p>	
	<p>×</p>	<p>×</p>	<p>○</p>	
	 <p>ROW寸法 (W下地枠外)</p>			
	<p>開口の確認</p>			
<p>注意</p> <p>※サイドガラスは躯体と面接合するように取り付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。 ※開口部(柱・まぐさ等)の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。 ※サイドガラスのガラスは交換できません。</p>				

2 サイドガラスの設置・固定方法

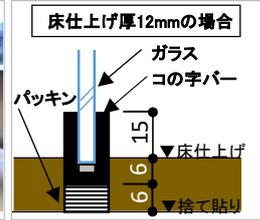
<p>① サイドガラスの設置前にガラス下部のコの字バーを保護している木材・下駄を取外します。 ※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。</p>	 <p>下駄 縦補強材 (パーチクルボード)</p>	 <p>中間補強材がついて納品</p>	 <p>縦枠下端=床仕上げ面</p>	<p>※ガラス下部のコの字バーは縦枠より出っ張ってますので取扱いに注意してください。</p>
	<p>縦補強材と下駄が取付いて納品</p>		<p>縦枠の下端が床仕上げ面</p>	<p>※ガラス下部のコの字バーは床仕上げ面より下に納まる</p>
<p>② サイドガラスの設置前に縦枠の下に床仕上げ材と同じ厚みのパッキン材(現場手配品)を仮置きし、サイドガラスを載せ、酢ビ系接着剤併用にて取り付けビス(現場手配品)で躯体に固定してください。(下穴が開いていませんので、必ず下穴をあけてから取り付けてください)</p>	 <p>下地裏面に接着剤全面塗布</p>	 <p>パッキン(仮置き) ※床仕上げ材と同厚</p>		 <p>ビス固定の方法</p>
<p>注意</p> <p>※サイドガラスの設置は床仕上げ材(フローリング)の施工前に行ってください。 ※縦枠の下端が床仕上げ面となります(後から施工する床仕上げ材が差し込めるようにしてください)。 ※サイドガラスを設置する際、パッキン材(仮置き)の上にガラス下部のコの字バーが載らないようにしてください(コの字バーが床仕上げ面より下に納まります)。 ※サイドガラスの取り付けビスはガラスをまたいで2列、300mmピッチ程度で固定してください。</p>				

□ 【カエサル専用】 サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/8更新

3 ガラス下部のコの字バーを固定し、床仕上げ材を取付ける

① サイドガラスの固定後、縦枠の下に仮置きしたパッキン材を取り外します。
次にコの字バーが下にズレ落ちないようにパッキン材を3箇所(両端と中央)、コの字バーの下にしっかり入れてください。



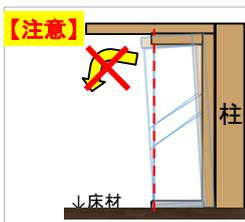
縦枠下端に仮置きしたパッキン材を抜く

コの字バーの下にパッキン材をしっかりと入れる

コの字バーの側面からパッキン材がはみ出さないよう切る

下記「注意」参照

② 上枠を天井に固定して、コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付けます。



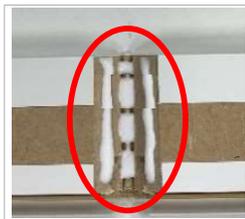
コの字バーを挟み込むように床仕上げ材を取付ける

注意

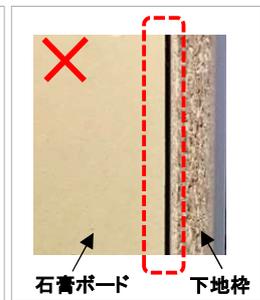
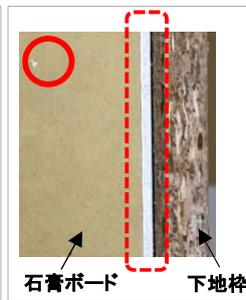
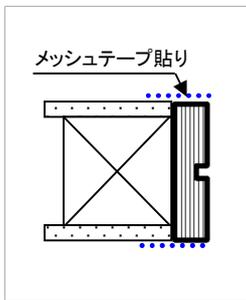
※コの字バーは床の捨て貼り面から浮いて設置されますので下にズレ落ちないようにパッキン材をしっかりと入れてください。
※コの字バーの下に挿入するパッキン材の厚みは床仕上げ材(フローリング)の厚みにより異なります。
参考; 床仕上げ厚12mmの場合: パッキンの厚み3mm、床仕上げ厚15mmの場合: 6mm
但し、床捨て貼り面の不陸が大きい場合は現場にてパッキンの厚みを調整してください。
※ガラスプロテクター側が垂れ落ちないようにしっかりと固定をしてください。

4 石膏ボード・幅木・クロス施工

① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。
(接着剤は酢ビ系をお勧めします)



② 石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理をした後でクロスを貼ってください。(メッシュ+下塗り+上塗りを推奨)
クロスは、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。(ガラス押えの出寸法3mm)
※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。



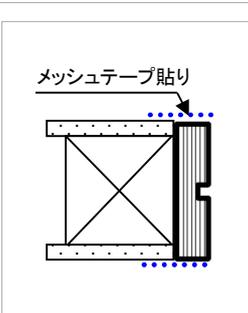
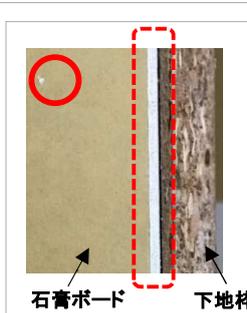
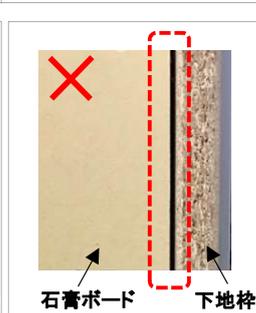
注意

※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(クロス仕様の場合: 高さ30mm×深さ7mm)。
※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。
※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな賀無ないようにしてください。

□ 【カエサル専用】 サイドガラスセット(固定タイプ)

施工手順書2025/8更新

5 石膏ボード・幅木・塗り壁施工

<p>① 幅木に接着剤を塗布し、縦枠下端の幅木切欠き加工部と壁面にまわして取り付けてください。 (接着剤は酢ビ系をお勧めします)</p>				
	<p>接着剤全面塗布</p>	<p>Vカット部分も接着剤を塗布する</p>	<p>縦枠下端の幅木切欠き加工部 深さ4mm(塗り壁の場合)</p>	<p>シンプル幅木の取り付け</p>
<p>② ガラス・コの字バー・幅木に養生を行い、石膏ボードと枠をまたぐようにメッシュテープを貼り、パテ処理(2度塗りを推奨)をしてください。パテが乾燥後、下塗り材(アク止め入り)をムラなく塗り、1~2日乾燥させてください。その後、仕上げ材をムラなく塗り、3~4日乾燥させてください。 ※縦枠に突き付ける石膏ボードは面を取り枠との間に隙間が出ないように取付けてください。</p>				
	<p>メッシュテープ</p>	<p>ビス部分にもパテ処理</p>	<p>石膏ボードを面取して枠との隙間を無くす</p>	<p>枠と石膏ボードの隙間が空いてしまっている</p>

注意

- ※縦枠下端の幅木切欠き加工寸法は別途当社で販売しているシンプル幅木用の寸法となります(塗り壁仕様の場合：高さ30mm×深さ4mm)。
- ※縦枠下端の幅木切欠き加工を無しにできます。ご注文の際に別途ご指定ください。
- ※塗り壁は、ガラス押え部分(アルミ調見切材)で見切ってください。但し、ガラス押えの出寸法が3mmのため塗り厚は3mm以下としてください。
- ※漆喰の場合、アク止めは1回塗った後に十分乾燥させ、さらにもう1回塗って、1~2日乾燥させた後に上塗りを行ってください。
- ※枠と石膏ボードの突き付けの部分は石膏ボードを面取りをして好きな質無いようにしてください。

注 ガラスプロテクターについて

【カエサルサイドガラスの取付注意】

- 工事中はガラスを傷つけないように養生をしてください。
- ガラスプロテクターは、お引渡し後も取付けたまま、お使いいただくことを推奨致します。



ガラスプロテクター

カエサルのサイドガラスは強化ガラスです。ガラスエッジの保護材としてガラスプロテクターを取付けて納品しています。ガラスプロテクターは取外し可能ですが、お引き渡し後も取付けたままお使いいただくことを推奨致します。